令和元年５月２７日発行

# 農時電送（のうじでんそう）

秋 小麦 No.4

## *秋まき小麦 赤かび病防除１回目は適期に！*

止葉期は平年より７日早い5月21日頃で、茎数は平年並に推移しています（平年：882本／㎡、6/1現在)。

一部ほ場で出穂が見られ、今週後半には出穂が揃う（平年：6/7）ほ場も見られると思われます。生育状況をよく観察し、防除適期を逃さないようにしましょう。

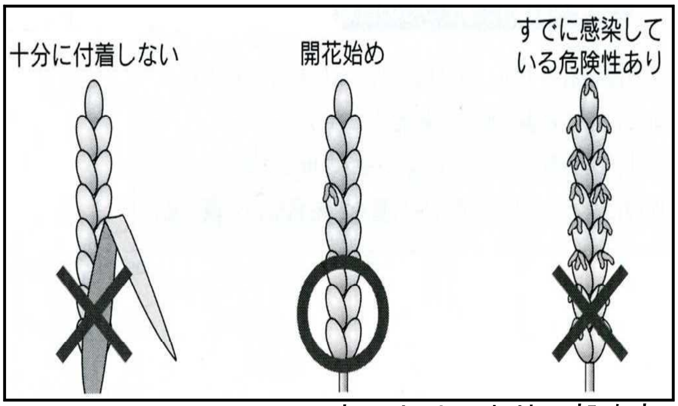
近年、止め葉が枯れる葉枯症状が発生しています。原因はニバーレ菌による「赤かび病」と、ふ枯れ病（現在調査中）で発生する葉枯症状によるものです。

## ☆赤かび病防除のポイント

防除適期は「開花始め」。

降雨が予想される場合には穂が出そろった時期に早めに防除を行いましょう。

※「葉焼け」を防ぐため、夕方の涼しくなった時間帯に行いましょう。




ニューカントリーより一部改変

## ☆赤かび病の防除体系例

| 防除時期 | 薬　剤　名 | 使用倍率 | 使用時期 | 回数 |
|---|---|---|---|---|
| 開花始め | **バラライカ水和剤** | 500 | 収穫14日前 | 2 |
| | または<br>**リベロ水和剤** | 2,000 | 収穫７日前 | 3 |
| 1回目の7日後 | **ベフトップジンフロアブル** | 800～1000 | 収穫14日前 | 出穂期以降 1 |
| ２回目の7日後 | **リベロ水和剤** | 2,000 | 収穫7日前 | 3 |
| | または<br>**シルバキュアフロアブル** | 2,000 | 収穫7日前 | 2 |

## ☆尿素の葉面散布

止葉期に窒素の分肥を行わなかったほ場や低タンパク傾向にあるほ場では、窒素資材の葉面散布を検討し、品質確保につなげましょう。

| |
|---|
| 尿素１～2%溶液（水100Lに尿素１～2kgを溶かす）を１～３回 |

※ノズルがつまらないよう、尿素ははじめにバケツなどで溶かしましょう。

※葉色が濃い場合や、高温の場合は「葉焼け」防止のため１％溶液を散布してください。

※「葉焼け」を防ぐため、夕方の涼しくなった時間帯に行いましょう。

**○●適正管理で目指せ！１等Ａランク１０俵どり●○**